

サキシマハマボウ

か めい
科名 アオイ

べつ めい
別名

がくめい
学名 *Thespesia populnea*



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶん
分 布 かごしま おきのえらぶじまいなん おきなわ やえやま
鹿児島 (沖永良部島以南)、沖縄、八重山
諸島、台湾

は かたち
葉 の 形 ハート形、円形

は ぶち
葉 の 縁 ぜんえん
全縁

は さき
葉 の 先 えいせんけい
鋭尖形

は しゅるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい
葉 の 付方 互生

は きぶ がた
葉 の 基部 ハート形

み しゅるい さくか
実 の 種類 蒴果

はな がくいろ きいろ
花・萼色 黄色

せつ せい
説 明 オオハマボウと同じで、^{おな}海岸の^{かいがん}砂泥地^{さでいち}によく生え、^は常^{じょうりよく}緑^{ていぼく}の低木^{しょうこうぼく}または小高木^{たか}で、高さ
5-10m^{くらい}位^はになります。葉は^{えんけい}円形^{さんかくけい}または三角形^はでオオハマボウよりは^は葉先^{はさき}が^{とが}尖ります。花は
はじめは^{きいろ}黄色^{むらさきいろ}ですが、のちに^お紫色^おを帯びてきます。